

令和7年度第3回 青梅市工業振興対策審議会 会議録

日 時 令和7年12月23日（火）午後3時開始

場 所 青梅市役所議会棟3階 第3委員会室

出席者

委 員（敬称略）

林 英夫、久保 安宏、池田 政教、井戸 功誠、岩田 雅行
片桐 正博、渋谷 貴子

事務局

渡部地域経済部長、並木商工業振興課長
加納工業振興係長、森田商業労政係長
株式会社価値総合研究所 鴨志田事業開発部長

欠席者

委 員（敬称略）

吉澤 清志、鎌倉 夏来

傍聴者 なし

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

次期「青梅市商・工業振興プラン」の策定にかかるアンケート調査
の実施について

4 その他

5 閉会

発言要旨

3 協議事項 次期「青梅市商・工業振興プラン」の策定にかかるアンケート調査の実施について

(事務局説明)

委員 ポリ्यूームのあるアンケートをお願いするので、アンケートを取っただけで終わらないことが重要。アンケートの結果はどう活用されるのか。

事務局 市内における事業者等の現状や、事業者や市民等が求めている施策等を把握するものである。それを踏まえて施策を検討して「青梅市商・工業振興プラン」を作成する。

委員 10年前に策定した振興プランでは、事業者や市民の意見が施策にどう反映されたかを記載するのもよいかと思う。意見が反映されるならば回答しようというモチベーションになるだろう。

事務局 本日欠席の委員から、「事業者アンケートについては、資料2-1の問16-1の意図を知りたい。また問17は正確に答えようとすると負担が大きいため例えば直近3年と期間を示すなどしてはどうか。また問20はそもそも市の施策を認知していないことも把握してはどうか。また、市民アンケートについては、問2で自身を含む人数と注釈があるもののミスが生じやすいのではないか。また問4は在宅勤務を考慮して通勤頻度も把握してはどうか。」という意見があった。

委員 環境対策は工業とも関係すると思うが、そうしたことは取り入れられているか。

事務局 アンケートでは省エネや脱炭素の取組状況等を聞いている。さきほどの施策の認知にも関係するが、省エネや脱炭素等について知ってもらうきっかけにもなるように検討したい。また「青梅市商・工業振興プラン」作成においても、「第3次青梅市環境基本計画」および「第2次青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」等との整合も必要と考えている。

委員 人口減少等のなかで今後どういう施策を打っていくかという期待が持てるような要素があるとよい。

事務局 アンケートはまず現状を把握するものである。そのうえで審議会において、目指す姿を話し合うこととなるため、そうした未来への期待を示せるのはその後となる。

委員 前回の審議会で提示されたものと比べると、かなり良くなっている。自由記述欄が増えていることで、そこに色々と書ける・書きたいと思う。

委員 市として方向性を示してくれるとアンケートに答えやすくなるのではないかと。市としてこういう方向に行きたい、それに対して困っていることは、と聞かれると書きやすい。

事務局 市として方向性や施策の案を示すには、まず現状把握や課題の抽出が必要となる。最初に現状把握と課題抽出を行い、目指す姿を設定したうえで、そのギャップを埋めるにはどういった方向性でどういった施策を打つのがよいか検討する、という順序を考えている。

委員 市の施策について、自身は十分に知っているとは言えない。広報していくことも重要と思う。

事務局 資料2-1の問20で施策の満足度を問う設問があるが、これらの施策の認知について聞いたり、施策の広報の必要性を聞いたりすることを検討したい。

委員 実効性のある振興プランをつくりたい。資料1の依頼状のキャッチコピーについて、例えば「これからの青梅は本気で考えます」など、本当に変えていくという期待を持てるようにしてはどうか。

事務局 検討させていただく。

委員 総合長期計画の中間改定作業が2027年度頃に行われるのであれば、振興プランの内容を総合長期計画に盛り込むことも可能か。

事務局 スケジュール的にはある程度盛り込むことは可能と考えている。

委員 例えば取組の実行率（実施したか）と有効率（効果があったか）の2軸で見られるようなアンケートのアウトプットがあるとよい。

事務局 資料2-1の製造業事業者アンケートでは、問20では満足度を聞き、問21では重要度を聞いており、2軸で見る想定である。なお、重要度は順位がつけられるように一対比較の設問としている。

委員 アンケートの結果は市民や事業者が知ることにはできるのか。どういう結果になってどう反映されるかわかると回答のモチベーションになるかと思う。

事務局 ホームページや振興プランの巻末に資料編等のかたちで掲載するなど、公開することを想定している。

委員 資料2-1の問19は新たに設けた設問か。

事務局 本設問は、今年11月の育児・介護休業法改正があったなか、第2回商業審議会において働きやすい環境づくりについて意見があったことを踏まえて設けたものである。

委員 アンケートのスケジュールはどのように想定しているか。

事務局 1月下旬頃までに発送、2月中旬頃までに回収、3月中下旬の審議会にて集計結果を示す想定である。

5 その他

事務局 次回の審議会は、アンケートの結果や地域経済の分析結果について報告する予定である。開催時期は3月中下旬としたい。改めて日程調整の連絡をする。

以上